

おひさま サタタ

2013



vol.127

8

はいっポーズ!

《置戸地区・勝山》

下村友美さんとかれんちゃん・^{すばる}素晴くん

(紹介は2ページです)

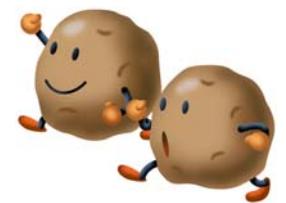
特集

- 農業者も“職人”
きたみらいに期待
- 自慢の娘牛 96頭競う
～JAきたみらい合併10周年記念酪農祭～



景色を彩る 馬鈴薯の花

季節の薫り



7月中旬、蒸し暑く気温高い日が続き、夏本番を感じさせる季節のなか、馬鈴薯の花が満開の時期を迎えている。

畑一面に広がった馬鈴薯の花ときれいに並んだ畝、緩やかな傾斜が織りなす景色は北海道の夏を感じさせる光景の一つである。

そんな景色のなか、種子馬鈴薯の抜き取り作業が行われている。抜き取り作業は健全な種子馬鈴薯を供給するため、罹病株がないか、圃場を歩きながら一本一本丁寧に調べる作業だ。

こうした地道な作業の積み重ねが安心安全な馬鈴薯の生産へとつながっています。

写真は7月17日、家族4人で抜き取り作業を行う留辺蘂地区瑞穂の村上孝幸さんの圃場で撮影。

村上さんは種子馬鈴薯5.4%を作付けしています。

円写真は、満開のトヨシロの芋の花を撮影。

表紙紹介

仲良し姉弟

朝方は風が冷たかったものの、日中は気温が上がって青空が広がった7月20日、下村さん宅に着くと「こんにちは！」とかれんちゃん、恐竜のおもちゃを持った素晴くんが笑顔で迎えてくれました。2人は置戸町こどもセンター「どんぐり」に通っています。好きな食べものは？と聞くと、かれんちゃんはイチゴとバナナ、素晴くんはじゃがいもが好きと答えてくれました。「時々けんかもしますが」とお母さんの友美さんですが、家では大好きなソフリの映画と一緒に観ている仲良し姉弟です。保育所で「おりがみ」を覚えてたかれんちゃんは、今年の素晴くんの誕生日に何かを作ってあげたいと、先生に教わりながら汽車を折ってプレゼント。弟思いのお姉ちゃんです。

表紙を飾った写真は、旧勝山小校舎にある花壇の前で撮影しました。撮影の合間に花壇にきれいに咲く花を見たり、ひらひら飛ぶ蝶々を追いかけたりしながら元気に遊ぶかれんちゃんと素晴くん、お父さんとお母さんは、「元気で優しく思いやりのある子に育って欲しい」と話してくれました。



【ご家族紹介】

左から～お母さんの友美さん(30)と素晴くん(3)、お父さんの和彦さん(31)とかれんちゃん(4)、ひいおばあちゃんのツヤさん(87)、おじいちゃんの文男さん(59)、おばあちゃんのマツ子さん(62)

下村さんはてん菜、スイートコーン、デントコーンなど約28%を作付けしています。

もくじ CONTENTS

○おひさまサラダクッキング………	22
○「トマトとかんきつのパスタ」 「夏野菜のイタリアン蒸し」………	16
○JAからのお知らせ………	12
○ほのぼのの広場………	8
・きたみらいのホープさん	
・なかよし夫婦	
・わが家のアイドル	
・ブリティーウーマン	
・大きくなったら	
・元気な先輩	
・思い出の写真	
・まちがいがさし	
・読者の声	
○表紙紹介………	2
「仲良し姉弟」	
○JAきたみらい ホットライン東西南北………	2
○季節の薫り………	6
特集① 農業者も「職人」 きたみらいに期待	4
特集② 自慢の娘牛96頭競う 合併10周年記念酪農祭	4

合併10周年記念事業

農業者も「職人」きたみらいに期待

きたみらいフォーラム開催！

職人は日本を支える宝

平成15年2月1日にオホーツク管内の8JAが合併し、誕生したJAきたみらい。
「集えひとつに！」夢への挑戦と実現のためにくを合言葉に、地域とともに歩み続けて、きたみらい農協は今年で11年目を迎えることができました。
多くの方々に支えられて10年。感謝の意を込めて、きたみらいフォーラムが開催されましたので紹介致します。



▲講演を行う「ニュースの職人」鳥越俊太郎氏

鳥越氏プロフィール

- 1965年 京都大学卒業後、毎日新聞社入社
- 1989年 「ザ・スクープ」のキャスターを務める
- 2001年 「日本記者クラブ賞」受賞
- 2004年 「第41回ギャラクシー賞報道活動部門大賞」受賞
- 2005年 大腸ガン発覚。4度の手術を受けるも、現在様々なメディア出演や講演会で精力的に活動中
- 2012年 じゃがいも問題研究所所長に就任

て、「ニュースの職人」の肩書きをもつ鳥越俊太郎氏を招き、講演を行いました。
講演の中で、鳥越さんは「日本はモノ作りの国、職人の国であり、

北見芸術文化ホールで7月10日、JAきたみらい合併10周年記念としてきたみらいフォーラムを開きました。当日はJAの役員や生産者のみなさんを始め、きたみらい地域の農業に携わる市場・流通・販売の関係者の方々が全国から集り、総勢512名が参加しました。開催に先立

ち、西川組合長から「本日のフォーラムを通じて、多くの皆様が産地、消費地の垣根を越えてJAきたみらいに共感していただければ幸いです。全ての生産者及び来賓の皆様にとって、誇れる農協を目指して果敢に挑戦していく次第です」と挨拶しました。フォーラムの基調講演の講師として、



▲フォーラムに集まった512人の関係者のみなさん

米や玉葱をつくる農業者の方々も言い換えれば職人。この方々は『日本を支える宝である』という強い思いがあります」と語り、鳥越さんご自

身もニュースという形の無いモノを作り、伝えることは職人の一人であるとの考えから、現在の肩書きを使うに至ったそうです。

最後に坂下専務より、「JAきたみらい設立20周年に向けて、生産者・地域が一体となつて、おいしい笑顔のために前進していきたい」と挨拶し、閉会しました。

結束があつたからこそ

フォーラムの後半では、産地情勢報告と消費地情勢についてのプログラムが設けられ、JAきたみらい企画開発グループの山原職員より『JAきたみらいの紹介』が行われ、当JAの概要や過去10年間の軌跡について関係者の方々に理解を深めていただきました。

ーチャンダイザーから、それぞれの動向について述べられました。そのなかで、小売業、仲卸業、量販店を始めとした市場の流れが従来と比較して大きく変化しており、きたみらいとして、この変化に柔軟に対応するため、さまざまな挑戦・取り組みが不可欠であり、産地としての期待にこたえていく必要があることを再確認することができました。

▲開会挨拶を行う西川組合長



▲生産者の想いを語る玉葱振興会小野会長



▲消費地情勢について話す、東京千住青果の岩澤氏(上)と ㈱イトーヨーカ堂の高橋氏(下)



また、消費地情勢として、市場・輸入動向については東京千住青果代表取締役東京ホクレン会会長の岩澤均氏から、量販店動向については㈱イトーヨーカ堂の高橋幸シニアマ



JAきたみらい合併10周年記念酪農祭

自慢の娘牛 96頭競う

J Aきたみらい乳牛共進会がきたみらい酪農振興協議会と共催で7月20日、訓子府町の北見管内畜産総合施設で行われ、96頭の乳牛が体型の美しさや骨格の力強さなど、資質を競い合いました。今回の共進会はJA合併10周年記念事業の「酪農祭」として開催され、北見市・訓子府町・置戸町の協賛と36団体の後援をいただき、一般来客者の方も楽しめるようアトラクションや多くの催事を開催しました。大勢の来場者のみなさんが楽しんでくださった様子を写真で紹介致します。



▲快晴のもと行われた共進会、手塩に掛けた自慢の乳牛96頭が審査されました



▲主催者を代表し開会の挨拶を述べる西川組合長
▲デーリクイーンを務めた青山千景さん（2007年度ミスさっぽろ）



▲未經産・経産の部の最高位、準最高位の荣誉に輝いた4頭と関係者のみなさん

【未經産の部】	最高位 「クレイジヤスクール キングジョー」	置戸 小山勇樹氏（左2頭目）
	準最高位 「クレイジヤスクール バドジョン ウィスキー」	置戸 小山勇樹氏（左1頭目）
【経産の部】	最高位 「DH ローズ フォー」	北見 山内 誠氏（右2頭目）
	準最高位 「ホナミMBB テンプター ポーラー」	訓子府 龍田茂久氏（右1頭目）



バター作りは体力勝負

初お目見え newボトルのきたみらい牛乳♪おいしいよ!!

ウサギさんかわいい

ポニーちゃん自由行動は10分で終了です



捕まっちゃった

▶審査員を務めたアルタジャパン(株)細野淳代表取締役。1頭1頭丁寧に審査し序列を決定していました。



牛乳の早飲み競争顔を牛乳で濡らし熾烈な闘いが!



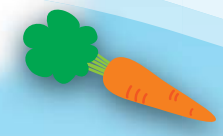
エイヤ~!!
たくさん拾ってね



▲福まきに集まる来場者のみなさん。用意された、たくさんのお餅やお菓子はあっという間に拾われていきました。



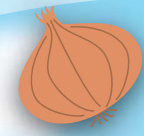
▲バーベキュー会場で置戸町の篠原牛に舌づつみ



東 西



南 北



温根湯

かかしPJ 発足

～山の水族館から
温泉街へ呼び込む～



▲観光客へアピールする「たまお」と「はなこ」と仲間達

8月に入り北海道観光シーズンが本格化。温根湯の山の水族館は今や一年間で30万人を超える道内観光のニュースポットです。その入館者を500人離れた温泉街まで呼び込むと地域住民が中心となり6月下旬に「かかしプロジェクト」が発足。地域との「共生」活動の一環としてJA職員も業務の合間をみながら2週間を費やし「かかし」を製作しました。名前は生産量日本一を誇る特産白花豆より「はなこ」と玉葱の「たまお」の2体。かかしの横には満開の時期を迎えている白花豆と赤花豆の成長を競い合う「温根湯温泉の紅白歌合戦」。山の水族館のお土産品一番の人気商品はなんとと言っても当JAの特産品「白花美人」。

この北見の人気スポットがますます発展するよう、地域と共に願うところです。

相内

好プレー 珍プレー続出

～青年部・フレミズ合同
パークゴルフ大会～



▲バーディーを狙ってスイングする青年部員

青年部相内支部（小野博幸支部長）フレッシュユミズ相内支部（森谷美生支部長）は7月17日、モイフスポーツワールド白樺コースで、親睦パークゴルフ大会を開きました。当日は、晴天に恵まれ、青年部11人、フレミズ4人が参加し、3～4人のチームに分かれプレーを行いました。久しぶりにパークゴルフをする部員がほとんどで、好プレー珍プレーが続出。一般のパークゴルフ愛好者にアドバイスを受けるなど、楽しくプレーしました。

終了後には表彰式と懇親会を市内の焼肉バイキング「ウエスタン」で行い、競技に参加できなかった部員や子供たちも含め、総勢33人で焼肉を食へながら和やかに懇親会を行いました。参加した部員は「雨が欲しいね」など、干ばつが続く天気を心配しつつ、収穫作業前の休息と鋭気を養っていました。



▲基準を確認する部員と職員

播種ずらし 長期出荷

～きぬさやエンドウ
目慣らし会開く～

上常呂

上常呂きぬさや部会（長部直行会長）は7月17日、JAきたみらい上常呂地区事務所隣の2号倉庫で、「きぬさやエンドウ」の目慣らし会を行い耕作者ほか5名が参加しました。

同地区のきぬさや作付けは平成元年から始まり、面積あたりの収益が高く、軽量野菜であることから、特に高齢者や女性農業者に受け入れられ、作付けされています。

きぬさやの収穫は府県の出荷量が少なくなる7月から9月の約3ヶ月間に渡り行われ、播種時期をずらし、収穫最盛期が重ならないように栽培されています。

当日はJAの販売担当から市場での販売状況も報告され「現況は1畝2千3百円程度今後また上がって来る見込みです。栽培管理に注意し長期出荷に心がけて下さい」と呼びかけていました。

置戸

情報を駆使 増収目指す

～管外視察研修に
13人が参加～



▲担当職員に説明を受ける参加者

置戸玉葱振興会（井上一会長）は7月8日と9日の2日間、管外視察研修を実施し、生産者13人が参加しました。

1日目は、岩見沢の玉葱圃場と札幌市にある日本気象協会札幌支店を視察。日本気象協会では、STVラジオの天気情報に出演している半田晋二郎氏が講師となり、7月から10月までの天気予報や、本年はラニーニャ現象が起こっていること、高温干ばつ傾向にあるなど、温暖化現象についての研修を行いました。

2日目は、長沼町にあるホクレン農業総合研究所を訪問。研究農場では各作物の新品種開発が行われており、玉葱の新品種「早次郎」の情報や紅色根腐れ病、リン酸施肥試験の話聞いた後、試験圃場へと移動。実際に圃場を見ながら担当職員の説明を受け、参加者からは活発に質問が出されていました。

端野

**高品質な
馬鈴薯目指し**

～晴天のもと
青空教室開催～



▲説明を聞きながら選別目合わせをする参加者

端野町馬鈴薯振興会（島倉英一会長）は7月24日、4つの会場にて食用馬鈴薯の青空教室を開催し、生産者88人が参加しました。

講師に名古屋、大阪の市場から馬鈴薯の担当者を迎え、平成25年産販売情勢と見通しについて説明。当JA技術開発G担当者から生育状況と今後の栽培管理について説明しました。「干ばつ傾向における収穫作業は、圃場条件を十分に確認した上で行って欲しい」と呼びかけ、事務局からは収穫から集荷時における注意点として、収穫後の保管や出荷時のポイントについて説明が行われました。

説明後は選別目合わせを行い、生産者の皆さんは写真と実際のサンプルを比較しながら熱心に説明を聞き、これから始まる収穫、出荷作業に向け注意点を確認しました。

北見

**21年間の
歴史の幕**

～ビールパーティーに
380人参加～



▲色とりどりのスーパーボールに夢中になる子どもたち

青年部北見支部（米森弘支部長）は7月5日、ビールパーティーをJAセンター事務所横の吹き抜け倉庫で行い、組合員家族や農業関係者など約380人が来場しました。

ビールパーティーは同青年部OBの「農作業の合間にいっぶくしたい」という思いから平成4年より毎年行われ、今年で21回目。しかし、青年部上常呂支部との合併に伴い、最後の開催となりました。

参加者はビールや焼き肉とともに、北見市玉葱青年部と同馬鈴薯青年部から提供された玉葱や馬鈴薯を味わい、子どもたちは部員が企画した「スーパーボールすくい」を楽しみました。

恒例の抽選会は景品の本数を増やして盛大に行われ、当選番号が伝えられると会場からは大きな歓声が上がりました。最後まで大勢の方々に楽しまれ、21年間の歴史に幕を下ろしました。



▲暑いなか整備に励む組員

**秋に向け
準備万端！**

～共同ハーベスター
整備行う～

留辺蘂

留辺蘂馬鈴薯品質向上生産組合（飯田和浩組合長）は7月9日にポテトハーベスターの共同整備を行いました。

本組合は、共同利用による適期収穫を推進し、馬鈴薯の品質・生産性の向上を図ることを目的として、現在は13人で構成されています。

作業当日は、うだるような暑さの下での作業でしたが、収穫作業はいわばその年の集大成となる仕事。当然のことながら、その収穫機の状態にも手は抜けません。

組員のみなさんは、昨年度に生じた問題点を話し合いながら、収穫の際にマシントラブルが発生しないよう、懸命に整備に励んでいました。その姿から、今年の出来秋に対する期待と意気込みがひしひしと伝わって来ました。

訓子府

**ロールを
転がして**

～ふるさとまつりで
農業アピール～



▲懸命にロールを転がす女性の部参加者のメンバー

青年部訓子府支部（須河岐文支部長）は7月13日と14日の両日、第34回ふるさとまつりを町や他の青年団体と共に開催しました。

前夜祭では「何飲むの？訓練でしょー」と、強烈なインパクトを放つ図柄の行灯でパレードに参加。地元農業の魅力を若い力で存分にアピールしていました。

14日の本祭では「牛乳ロール」を主催。参加者は3人1組でロールを転がし、折り返し地点とゴール地点で「きたみらい牛乳」を飲み干して、そのタイムを競いました。

男性の部優勝チームは相当な練習を重ねてきたようで、「すでに1年分の牛乳を飲んだ」と消費拡大に大きく貢献していただいた様子でした。

景品にはくんねっぷメロンやスノーマーチを授与。来場者には牛乳の無料配布も行いました。

わが家のアイドル

温根湯地区・松山

苜米地 結衣(ゆい)ちゃん(2歳6ヶ月)

ドラえもんが大好き!!

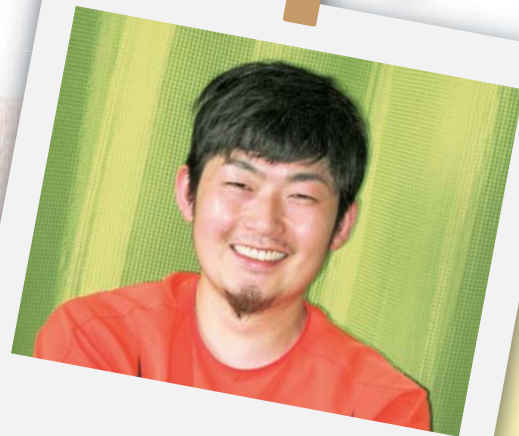


ドラえもんが大好きな結衣ちゃん、好きになったきっかけはお母さんと一緒に行った今年のフレミズ8支部合同視察研修にて、新千歳空港に行った際、ドラえもんの施設で遊んだ事がきっかけだそうです。撮影当日もドラえもんのうちわを持って元気に迎えてくれました。

普段は保育園などでお友達と元気に遊ぶ結衣ちゃんは、最近お家でカーテンを閉めたり、布団を敷いたりお母さんのお手伝いをしてくれます。お母さんの由希子さんは「人に迷惑をかけず、好きなことを見つけて何事もあきらめないような子に育てて欲しい」と話してくれました。

温根湯地区・松山の苜米地秀昌さん、由希子さん夫妻のお子さんです。

きたみらいの ホープさん



自分のスタイルで!

訓子府地区・協星 かける
相馬 翔さん(25歳)

- 趣味は?
スポーツです。体を動かすことが好きです。
 - 理想の女性は?
気配りのできる人が良いですね。
 - 休日の過ごし方は?
ブラブラ出掛けて余計な買い物をしちゃいます。この前、普段は読まないのに、何の気なく小説を買ったんです。そしたら、すっごく面白くて。有川浩にはまっています。
 - 好きな食べ物・嫌いな食べ物は?
好きな食べ物はパスタです。ボンゴレとか魚介系が好きです。苦手な食べ物はチキンライス。ケチャップとご飯が混ざり合っている様子を許すことができません。なので、オムライスもちょっと……。
 - 農業で学び実感したことは?
会社に勤めていたころは、そこそこの睡眠時間も取れて定期的に休みもあったけど、就農してからはそうもいかない。「ヒトってこんなに寝なくても働けるんだ」、って実感しました。
 - 今後の抱負は?
放牧やメガファームに代表されるように、酪農にはいろんな経営形態、そのやり方がある。情報収集や精進を重ね「自分のスタイル」を確立したいですね。為せば成る、です。
- 9月号の「ホープさん」は、JAきたみらい青年部?支部の?さんを予定しています。広報編集委員が、突然、取材にお伺いすると思いますが、何卒、ご協力願います。

翔さんは、酪農専業の勤さん・真弓さんの次男で、Uターン就農して2年目になります。

Pretty Woman ウーマン



今年で結婚30周年!

相内地区・相内

川岸 啓子さん(54歳)

今回は女性部副部長の相内支部・川岸さんに登場いただきました。

◆ご主人との出逢いは?

主人とは高校3年間同じクラスでした。クラス全体でも仲がよく、卒業してからもみんなで遊んでいて、それがきっかけで卒業後に付き合い始めました。24歳の時に結婚して、新婚旅行で開園して1週間のディズニーランドにも行きました。今年開園30周年のディズニーランドと一緒に、私たちも今年で結婚30周年を迎えました!

◆家族構成は?

娘が2人います。長女が結婚しているの、孫も2人います。

◆趣味は?

5年くらい前から、ネックレスやブレスレットなどのビーズのアクセサリー作りをしています。最近はなかなか時間がとれないのですが、お店に行くについ自新しい材料を探してしまいます。他にも岩盤浴やミニパレーなど、体を動かすことも好きです。

◆組織活動ではどんなところが楽しいですか?

自分の支部以外の人と知り合いになれることがいいところだと思います。平成24年度の本部役員も仲が良く、今年の6月に置戸ゆうゆのステージで集まりました。5年間は続けたいね、と約束はしていますが、ずっと良い関係を続けていけたらいいなと思っています。

Q出身地は?

鎌造さんは大阪府の出身で、澄恵さんは釧路市の出身です。

Qいつ結婚しましたか?

平成5年に結婚しました。今年で結婚20年を迎えます。

Qお付き合いしたきっかけは?

鎌造さんが就農する前に勤めていた大阪の会社で一緒だったのがきっかけです。

Q趣味・娯楽は?

趣味は、鎌造さんが映画鑑賞、澄恵さんは読書です。

Qこれからしたいことは?

家族でハワイへ旅行に行ってみたいです。

Qお互いの感謝の言葉

- ・鎌造さん
お勤めしながらも、農作業を手伝ったりしてくれることに感謝しています。
- ・澄恵さん
子どもの面倒をしっかりとみてくれて、いろんなところに気がついてくれることに感謝しています。



ながよし夫婦

家族でハワイに行きたい

留辺薬地区・泉

堂本 けん ぞう
鎌 造さん(48歳)
すみ え
澄 恵さん(46歳)

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



7月号クイズの当選者

7月号のまちがいさがしの答えは「2. 4. 5. 8. 11」でした。正解者42名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。尚、抽選はJAきたみらいの佐藤常務にお願いしました。

()内は地区名

- ・山下 隆子さん(温根湯)・紺野 佳恵さん(訓子府)
- ・三上 順子さん(温根湯)・鍋嶋たけ子さん(訓子府)
- ・鈴木順三郎さん(置戸)・辻本 伸介さん(相内)
- ・奥山 宏美さん(置戸)・西内 葵さん(上常呂)
- ・高城 加奈さん(訓子府)・廣川 陽土さん(端野)

以上の方々には、(株)清月の羊羹・ゼリー詰め合わせをプレゼントします。

応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、カルピスの詰め合わせをプレゼントします。

年々、暑さが増して農家の仕事が辛い温度となってきました。秋の実りを期待して体に気をつけて頑張りましょう。

(訓子府地区・川又 恵子さん)

小麦の収穫が始まりましたね。暑い日が続いてますが体に気をつけて頑張りましょう。

おひさまサラダいつも楽しみにみています。お友達の事が出ていたりとても面白いです。

(相内地区・北町 晃洋さん)

他の学校が載った記事も読んでみて下さいね。田植えした稲が豊作となるよう期待しています。

先月号「元気な先輩」掲載記事に対して)

河野タヨさん、元気そうで何よりです。

(置戸地区・鈴木順三郎さん)

ご愛読ありがとうございます。本誌を通じて、みなさんの輪に入れるのであればうれしい限りです。

毎日暑いですが、もうすぐ夏休み・プールで遊ぶのが楽しみです。でも雨もほしいですね。

(留辺蘂地区・坂下みちるさん)

楽しい夏休みを過ごしているのでしょうか。私もプールで泳ぎたくります。恵みの雨が降りますように。

元気な先輩

端野地区・協和
古屋 實さん
(80歳)



体を動かし健康で

實さんは昭和7年に端野町協和で生まれ、高等科(現在の中学校)卒業後に就農しました。当時の作付けは5畝程で麦、馬鈴薯、てん菜を作っていました。就農してから10年間、昭和30年頃まではとにかく食料が無く、えん麦を食べるなど、とても苦労しました。

昭和30年に結婚されてからは人も増え、徐々に規模を拡大。新たに始めたハッカは8畝まで増え、昭和35年頃には米も作付するようになりました。「毎年、これで良かったと納得することはなかった」と話し、小豆、大福、虎豆と地区内でも先駆けて新しい作付に次々と挑戦。昭和40年頃には現在に繋がる玉葱を作付けを開始しました。しかし当時は土の条件などでうまくいかずに苦労し、3年間かけて少しずつ良くなっていったそうです。

経営を移譲してからは趣味の旅行で海外や日本中をまわり、運動でもベタタンク球技やパークゴルフなどで一年中アクティブな實さん。健康の秘訣は「体を動かすこと。じっとしてたら体もおかしくなるよ」とのこと。今後の目標は、まだ行ったことのない鳥取砂丘へ旅行に行きたいと笑顔で話してくれました。

ほのぼのの広場

大きくなったら



相内地区・東相内
北口 祥夢くん(10歳)

プロ野球選手になりたい!

ぼくは大きくなったら、プロ野球選手になりたいです。

今は、東相内ヤンチャーズで、練習に夢中です。オールラウンドプレーヤーとして活躍しています。

プロになれなかったら、農家を手伝う予定です。

北口裕生さん、こずえさん夫婦の長男です。笑顔で元気にお話してくれました。パパとキャッチボールをして遊ぶのが好きです。

思い出の写真

この写真は今から33年前の昭和55年、牛舎新築の建前の写真で、神主さんに御払いをしてもらっている時のものです。

輝幸さんは高校卒業後、川東で牛飼いをしていたが、住宅地の開発に伴い現在の場所に移ることになり、牛舎と家を新築しました。

建前は1番牧草の収穫が終わった7月、牛飼いの仲間十数名と親戚、近所の方が集まり、雨の中行われました。御払いの後、親戚の叔父さん達が作った俵に餅を詰めて餅まきも行われ、「今は見なくなったけど、昔はみんなで俵を作って御払いの時に子供したんだよ」と当時の様子を懐かしく振り返っていました。

2ヶ月後の9月には新築の牛舎が完成、また同年には補助事業で新しいサイロやコンバインが導入され、新しい環境の中でスタートを切る一方、移り住んだ先まで市の営農用水の整備が間に合わず、初めの1ヶ月間は牛に飲ませる水を1日3回、約3000ℓを毎日車で運び、「最初は苦労したよ」と話していました。

妻の愛子さんとともに笑顔で取材に応じた輝幸さん。これまで二人三脚で酪農を歩んできた様子が伝わってきました。



▲前列の赤いベストを着ているのが輝幸さんです 牛舎新築の建前

北見地区・川東
滝口 輝幸さん(63歳)



餅まき用の餅が入った俵▶

INFORMATION

輪を広げて団結！ 女性部のパワーアップ！！

女性部8支部合同視察研修に

148人が参加

5回目を迎えた2年に1度実施されるJAきたみらい女性部の8支部合同視察研修が7月7日と8日の両日に行われ、148人が参加しました。



▲道新工場で熱心に説明を聞く様子

初日は劇団四季の「美女と野獣」と札幌ドームでの野球観戦の2つから選んで観覧しました。「美女と野獣」は日曜日ということもあり、劇場は満員。圧巻の演技と美しい歌声、綺麗な衣装とセットに魅了され、時には笑いも起こり愉快な3時間となりました。

野球観戦では日本ハムとオリックスの試合を観戦し、必勝を期して女性部員50人が親衛隊となり日ハムを応援しました。ユニフォーム、Tシャツ、エアバットなど応援グッズに身をつつみ、大歓声を送っていました。試合は3回、二刀流の新鋭、大谷が走者一掃の二塁打を打ち、3打点と大活躍。序盤から優位に立った日ハムが8対1で快勝。女性部が応援に行くこと必ず勝つという「不敗神話」が続く、嬉しい結果となりました。夕方6時からは宿泊ホテルで懇親会を開催。開会の挨拶で齋藤のり子部長は、「介護施設建設に向けた要望や、女性農業者の思いをJA事業に

反映させるため、女性部加入促進と合わせて、女性の正組合員資格取得についても考えていかなければいけない時期にきている」と呼び掛け、川岸副部長の乾杯で懇親会が始まりました。

各支部混合で座った19テーブルで談笑した後、テーブルごとのチーム対抗ゲームを行いました。「奥さんお絵かきですよ」では皆さんお絵かきですよ、さらさらと絵を描き、回答者の皆さんも意欲的に答え大いに盛り上がりました。「スリッパリレー」では悪戦苦闘しているチームも見られました。軽快にスリッパを運んでいました。懇親会やゲームを通じ、支部間の交流が図られ、輪が広がったひとときでした。翌日は、北海道新聞社工場「フムフム館」で新聞が自宅に届くまでの流れを学び、印刷ラインを見学しました。お土産には支部ごとの写真の入った号外をいただき、みなさんと



▲札幌ドームに歓声！ファイターズカラーに染まる、おなじみ“風船ロケット”

支部間交流で リフレッシュ！

フレスビズ初の8支部合同視察研修

7月1日と2日の両日にJAきたみらいフレッシュミズでは初めての試みとなった、8支部合同視察研修が行われました。今回は会員49名とお子さん3名、計52名の参加。各地区事務所を経由した2台のバスで札幌へと向かいました。

1日目は全日空ホテルのランチバ



▲コカコーラ・ポトリングにて

イキングでお腹を満たしてから、コカ・コーラポトリング札幌工場の見学。製造ラインは動いていませんでしたが、飲物の入った箱が高く積み上げられた保管庫では、機械が箱を速やかに取っていく姿に歓声が上げられていました。その後、冷えた瓶のコーラやジュースをいただき、D



▲道新工場「フムフム館」にて

VDでコカ・コーラについて学習してから、ホテルへと向かいました。午後6時半からは、宿泊ホテルで懇親会を開催。穴田会長は開会の挨拶で初の8支部合同視察研修へ参加してくださった会員に感謝を述べ、乾杯。会場は各支部の混ざったテーブルごとに、工夫された懐石料理とお酒を酌み交わし、とても和やかな雰囲気となりました。

懇親会のゲームは「奥さんお絵かきですよ」と「スリッパリレー」に挑戦。「奥さんお絵かきですよ」では、みなさんとても上手で白熱した試合が続く、中にはユニークな絵を描いた方もいたり、終始笑いの絶えない時間となりました。「スリッパリレー」ではチームごとのタイムトライアルで、腕を組んだり、手を繋ぎながら真剣にスリッパを運んでいました。ゲームを通じて、他支部の人と話をするきっかけになり良かったという声も聞かれ、有意義な2時間となりました。

2日目は北海道新聞社工場「フムフム館」にてDVDで新聞が作製されるまでを学び、印刷ラインの工場見学。こちらに残念ながら時間の関係で工場は動いていませんでしたが、アルミで製作された刷版や印刷途中の新聞など普段見られない物を見る事ができました。その後、新千歳空



▲白熱！「奥さんお絵かきですよ」

港へ。アウトレットモール「レラ」へ行かれたかたも多く、各々お土産を買ったり、買い物したりと自由時間を楽しみ、リフレッシュし、帰路に着きました。初めての試みで会員の皆さんも不安だったと思いますが、支部間の交流も盛んに行われ、「楽しかった」という声も多くいただき、初めての合同視察は大成功に終わりました。

ても喜んでいました。その後、新千歳空港に移動し、風食とお土産を買って帰路に着きました。暑い中の長距離移動で大変でしたが、参加された部員の皆さんは大いに楽しまれていました。

INFORMATION

熱球に歓声

剛腕に汗!

青年部129人が参加

J Aきたみらい青年部（荒喜文部長）は8支部交流ソフトボール大会を7月8日、訓子府町レクリエーション公園のソフトボール球場で行い、部員相互の交流を深めました。

同大会は、同青年部が2004年に設立された翌年から、支部間交流を目的に開かれています。9回目の今回は129名の青年部が参加。計8チームがA・Bコートに分れ、総当たり戦で激戦の火花を散らしました。しなやかなバッティングフォロムから何発もの白球が真夏の青空に



▲フルスイングする青年部員

打ちあがり、拍手や大きな歓声を送られました。

大会終了後の懇親会場では、11月のオホーツクJA青年部大会で開かれる「アームレスリング大会」の出場権獲得を目指して、各支部の代表者が己の怪力をぶつけ合いました。

ソフトボール大会ではAコートで温留相端支部混合のAチーム、Bコートでは上北端混合のFチームが優勝。アームレスリング大会では北見支部の豊原昌文さんが栄冠を勝ち取りました。



▲互いに一歩も譲らないアームレスリング大会

もっと楽しく

作業したい!

畑楽クラブ2期生始動

J Aきたみらいは縄走改良普及センターの協力を得て、2期目となる「畑楽クラブ」を開講し7月5日、同JAセンター事務所にて開校式と第1回講習会を開きました。

同クラブは、農業経験が0から10年程の女性農業者を対象に、さまざまな農業の基礎知識を、講義や実習を通して学ぶもので、2年間で8回のカリキュラムを予定しています。

当JA坂下専務は開講式の挨拶で「小さなお子さんがいたり、時間のやりくりなど大変かと思いますが、普及センターやJAは未来あるみなさんの強い味方です。ともに歩いて行きましょう」と、激励の言葉を贈りました。

講師となる普及センターとJA職員を紹介した後、今回応募した2期生、21名が自己紹介、初めての顔合わせを行いました。

開講式終了後は、同クラブ立ち上げに関わった、1期生の下田裕美子さんより、実際に立ったことや家族のなかでの変化など、体験談を講演しました。下田さんは「同クラブ



▲下田裕美さんの話を聞く受講者

の魅力は、普段の活動範囲以外の人と仲良くなり、回を重ねる度に楽しさも増えること。また、実際の営農では、作業が理解できるようになる変化を感じることです」と話してくれました。

講義終了後、2期生からは「ここで学んだことを基礎に、家でも自分で考えて動けるようになりたい」や、「夫に代わってトラクターに乗って作業できるようにしたい」など、今後に向けて意気込みを話していました。

TPP 断固反対

北海道農業を「守れ!!」

北見・札幌で TPP 抗議のデモ行進

TPP交渉参加に抗議する決起集会が7月22日北見、25日に札幌で行われました。

北見芸術文化ホール前で行われたオホーツク総決起集会では約2000人が集まり、当JAから組合員・役員290人が参加。参加者は額に汗を浮かべながら、地方で安心して暮らし続けるためにも、交渉からの即時撤退が必要だと訴えました。

札幌市中央区の中島公園では全道総決起大会が開かれました。JA北海道中央会など1次産業4団体が主催、道や道経済連合会、道消費者協会、道医師会など業界の垣根を越えた43団体が後援。約7000人が集まり、当JAから組合員・役員141人が参加。大会後はデモ行進し、TPP交渉参加への怒りや危機感を広く訴えました。



▲デモ行進を行う参加者（札幌会場）



▲TPP参加反対に集まる参加者（北見会場）



▲宣言を行う櫻田北見市長（北見会場）

TPPから「地域」「暮らし」「いのち」を守る オホーツク総決起集会宣言（案）

平成22年10月に、TPP交渉の参加検討が表明されて以降、我々は一貫して交渉参加反対運動を展開し、幅広くTPPの問題点を訴える活動を行うとともに、政府に対して、地域や生活に与える影響への不安を、あらゆる手段で強く訴えてきた。

こうした中、政府はTPP交渉参加を決定し、交渉会合への正式参加が目前に控えているが、多くの国民が求めている詳細な情報公開も、徹底した国民的議論もないまま、正式参加に向けた手続きが進んでいることは、切実な地方の声が届いていないと言わざるを得ず、極めて遺憾であり、断じて容認できない。

TPPは例外なき関税撤廃を原則としているため、オホーツク管内の基幹産業である農林水産業をはじめ、関連産業も含め地域経済全体に壊滅的な打撃を与え、地域そのものが崩壊する。

また、関税撤廃のみならず、医療・医薬品、金融・保険、公共事業、食品の安全基準・表示制度、ISD条項など私たちの暮らしや地域社会全体に深刻な影響を及ぼし、まさに国の「かたち」を歪めかねない危険な協定であり、国益にかなうものではない。

TPPから、ふるさとオホーツクの「地域」「暮らし」「いのち」を守り、安心して暮らせる豊かな地域社会を築くためには、TPP交渉から即時脱退すべきである。

正式に交渉参加へと進む政府に抗議し、TPP交渉からの即時脱退を強く求めるとともに、今後も、道民・関係機関・団体が一丸となり、より強固なオホーツク地域の声を訴え断固反対を貫いていく。

以上、宣言する。

平成25年7月22日

TPPから「地域」「暮らし」「いのち」を守るオホーツク総決起集会

INFORMATION

第6回 理事会報告

7月29日、午前9時より第6回定例理事会が開催され、報告事項13件、議決事項4件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①内部監査（貯金・共済部門）報告について
- ②平成25年度監事会視察研修報告について
- ③組合員状況報告について
- ④財務状況報告について
- ⑤玉ねぎ処理加工施設工事に係る入札結果について
- ⑥平成25年度夏期地区別懇談会意見集約について
- ⑦平成25年度緊急災害発生時の地区対応体制について
- ⑧作況調査（7月15日）報告について
- ⑨平成25年度作付実態調査の集約について
- ⑩第3回ふれあい農業祭実行委員会開催報告について
- ⑪10周年事業（きたみらいフォーラム・乳牛共進会）結果について
- ⑫平成24年産共計玉ねぎ、馬鈴しょの本精算について
- ⑬北見地区中古農機・自動車展示即売会の開催実績について

【議決事項】

- ①出資持分譲渡について
- ②余裕金運用規程の改訂について
- ③資材倉庫新築工事に係わる業者選定について
- ④H25年産玉ねぎ精算規格の変更について

今後の発展のために

7月2日、JAきたみらいセンター事務所へ高橋正俊氏が訪れ、故高橋俊一初代組合長が生前及び葬儀に関しお世話になったことから寄付金百万円を贈呈いただきました。趣旨に基づき当JAの今後の発展に役立てさせていただきます。ありがとうございました。



▲高橋正俊氏（左）より寄贈を受ける西川組合長（右）

夏期地区別懇談会終える

活発な意見や質問が108件

地区毎の出席状況				
懇談会日	地区名	組合員戸数	出席戸数	出席率(%)
7/18	温根湯	75	26	34.7
7/17	留辺蘂	36	20	55.6
7/17	置戸	114	51	44.7
7/16	訓子府	312	37	11.9
7/16	相内	101	27	26.7
7/18	上常呂	125	22	17.6
7/12	北見	213	44	20.7
7/12	端野	210	65	31.0
合計		1,186	292	24.6

7月12日から7月18日までの4日間、8会場にてJAの「夏期地区別懇談会」が行われ、組合員と家族の皆さんなど292人が出席しました。JAからは、常勤役員と西・南・東のエリアごとに役員が出席し、地区運営委員長の司会により進行しました。3時間という限られた時間のなか、8会場において次の項目について説明した後、数多くの組合員の皆さんから活発な意見や質問が延べ108件出されました。

懇談会では

- 営農指導事業から「組合員意向調査結果の報告」
- 青果・農産事業は「各農作物の情勢」
- 畜産事業は「酪農畜産の情勢」
- 金融共済事業は「生産資材の情勢」
- 総務企画部門は「JAきたみらい合併10周年記念事業の実施」

以上の他に、「生産者組織の状況」などを説明しました。なお、懇談会で出された質問・意見・要望などについては、その場にて考え方などの回答をしましたが、検討を要する事項については、8月開催の第7回定例理事会で協議した後、「Q&A」にてお知らせ致します。

地元地域へJAアピール

ぼんちまつりへ150人参加

「第60回北見ぼんちまつり」が7月19日より3日間開催され、JAきたみらいでは初日の「舞踊パレード」に青年部、女性部、フレミズなどの組合員家族とJA役職員など約150人が浴衣や黄・青色の法被を着て参加しました。威勢の良い掛け声に合わせながら市内中心部の商店街を踊り歩き、沿道に集まった一般市民にJAをアピールしました。終了後の慰労会では、組合員同士の交流が図られ、楽しみました。



▲掛け声に合わせてながらJAをアピールする参加者

セルフスタンドへリニューアル

中ノ島給油所はセルフ化改造のため7月22日より改修工事のため休業させて頂いております。期間中は大変ご不便をおかけしますがご理解を承りますようお願い致します。なおオープンは、9月上旬の予定でキャンペーンを予定しています。



▲セルフスタンド店舗へ改修中



▲TPP関連について質問する留辺蘂地区の越智弘己さん



▲65人が出席して開かれた、端野地区事務所での懇談会



トマトとかんきつのパスタ

【エネルギー452kcal(1人分)】

【作り方】

- ①完熟トマトは1cm角、フルーツトマトは縦6つ切り、かんきつは皮をむき、フルーツトマトと同じ大きさに切る。黒オリーブの実は2つに切り、ショウガは千切り、赤唐辛子は種を除き細切りにする。
- ②ボウルの中でアンチョビをつぶし、①の完熟トマト、黒オリーブの実、ショウガ、赤唐辛子と白ワインビネガー、EVオリーブ油、塩を加えよく混ぜる。
- ③②にフルーツトマトとかんきつを加え、軽く混ぜ合わせ、冷蔵庫で冷やして味をなじませる。
- ④鍋にたっぷりの湯を沸かし、塩(材料外:水1Lに10g)を入れ、パスタを表示通りの時間ゆでる。
- ⑤パスタを③に入れてよく絡め、器に盛り、枝豆とバジルの葉を散らす。

メモ

ビタミンたっぷりのパスタ。トマトとかんきつの爽やかさは暑い夏にピッタリです。パスタ以外にもサラダや冷やご飯と混ぜても楽しめます。アンチョビとパスタの塩加減により、味を調整しましょう。
※EVオリーブ油とは…エキストラ・バージン・オリーブオイル

【材料：3人前】

- 完熟トマト ……2～3個
- フルーツトマト ……2～3個
- かんきつ ……1個
- エダマメ…適量(ゆでてサヤから出す)
- 黒オリーブの実(種なし) ……6個
- ショウガ ……1片
- 赤唐辛子 ……1本
- アンチョビ ……2枚
- 生バジルの葉 ……少々
- パスタ(細めのもの)……240g
- EVオリーブ油 ……小さじ2
- 白ワインビネガー ……大さじ3
- 塩 ……少々

おひさまサラダ COOKING

♥おいしいもの大好き!♥



夏野菜のイタリアン蒸し

【エネルギー154kcal(1人分)】

【作り方】

- ①カブ、ズッキーニ、パプリカ、ピーマンは縦4つ切りにする。
- ②スナップエンドウは筋を取る。
- ③厚手の鍋にオリーブ油少量を敷き、①②の野菜と半分に切り芯を取ったニンニクを入れ、塩とEVオリーブ油を全体に掛けて、きっちりふたをする。
- ④中火で6～8分加熱する。ズッキーニに火が通れば完成。
- ⑤器に盛り付け黒こしょうを振る。

メモ

夏野菜をオリーブ油で蒸すだけの簡単なメニューです。ブロッコリー・マッシュルーム・ニンジン・アスパラガスなど、いろいろな野菜でお試し下さい。野菜の鮮やかな色合いやシャキッとした食感を損なわないように、火の通し過ぎには注意しましょう。

【材料：2人前】

- カブ ……2個
- ズッキーニ ……1/2本
- パプリカ(赤か黄) ……1個
- ピーマン ……1個
- スナップエンドウ ……10本
- ニンニク ……1片
- EVオリーブ油 ……大さじ1
- 塩 ……少々
- 黒こしょう ……少々

編集後記

- ・今号の特集では合併10周年記念のフォーラムや酪農祭など、多くの組合員、ご家族の皆さんに参加いただきました。今年で60回目を迎えたぼんちまつりでの舞踏パレードなど、夏本番といったイベントも各地域で行われていました。
- ・小麦収穫を始めとした作業がスタートしており、お盆が過ぎてからは、玉葱、馬鈴薯の収穫作業が本格化しますが、まだまだ残暑が続きます。水分補給し、無理をせず熱中症や農作業事故に気をつけて下さい。

(虻川 卓也)

JAきたみらい概要

(平成25年7月20日現在)

- ・組合員数(正) 1,785人
- ・組合員数(准) 5,536人
- ・組合員戸数(正) 1,185戸
- ・貯金 99,189百万円
- ・貸出金 22,293百万円
- ・出資金 5,041百万円

発行 きたみらい農業協同組合
〒090-0813 北海道北見市中ノ島町1丁目1番8号
TEL0157-32-8777(4)

責任者/西川孝範

編集者/宮農振興部:企画振興グループ